

SOPHILIANS NOW

創立100周年記念号

表紙でさかのぼる上智大学の歩み その4〈100年史〉

表紙 2年、4回にわたって上智大学の歴史を紹介しています。

→ 次の100年に向けて



2013 (平成 25 年)

次の100年に向けて。2016年竣工予定のソフィアタワー（12号館の左側／完成予想図）

総合グローバル学部新設の発表（2014.4 開設）

創立 100 周年記念式典

新棟ソフィアタワー建設計画発表（2016 年 3 月竣工予定）

2011 (平成 23 年)

学校法人上智学院が学校法人聖母学園と合併

2005 (平成 17 年)

2号館竣工

総合人間科学部を設置

1999 (平成 11 年)

ザビエル渡来 450 周年

1988 (昭和 63 年)

創立 75 周年記念式典



アンコール・ワット西参道
修復第Ⅰ工区完成（2007年）

2号館



中央図書館・
総合研究棟開館（1984年）



旧ソフィアズクラブ（2007年閉鎖）



第14代学長
滝澤 正



第9代理事長
高祖敏明



第12代学長
ウィリアム・カリー



第13代学長
石澤良昭



第11代学長
大谷啓治



第8代理事長
山本襄治



第10代学長
土田将雄

CONTENTS

- 創立 100 周年記念事業 P2-3
感謝ミサと記念式典が厳粛に開催される
オールソフィアズ大祝宴も盛大に祝われる
- 創立 100 周年記念事業募金 P4
お陰さまで卒業生の目標は達成されました
- 拡大東京大会 P5
ソフィア NEXT100 プロジェクトがキックオフ
- 春季全国代議員会 Report P6
新ソフィアズクラブの建設へ 1 億円と売上金を寄付

- 秋季全国代議員会 Report P7
次期役員選考委員が選出される
- オールソフィアンの集い P8-10
- ソフィアズ顕彰 P11
15 名のソフィアンが顕彰されました
- 学部・学科同窓会の設立 P12
理工学部同窓会に続き法学部同窓会も設立準備
- 大規模ソフィア会活動報告 P13
- ソフィアンの広場 P14-17
- News & Information P18-20
上智大学のビジュアル・アイデンティティが決定
第 1 回アジア・ソフィア会が開催されました

母校創立100周年を祝し 感謝のミサと記念式典が催される



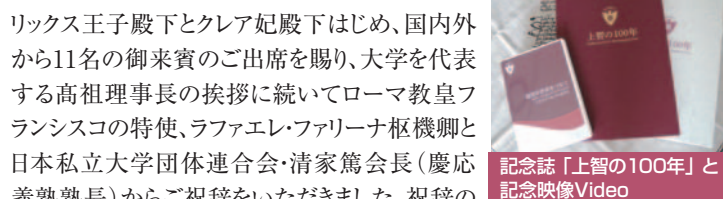
秋晴れに恵まれた11月1日(金)、上智大学の創立100周年と上智短期大学部創立40周年および上智社会福祉専門学校創立50周年を記念する祝賀行事が東京で厳かに執り行われました。

祝賀行事は、聖イグナチオ教会で午前10時にローマ教皇特使ラファエレ・ファリーナ枢機卿の主司式による記念ミサで始まり、主の恵みに感謝し更なる加護の祈りが捧げられました。

1549年長い航海の後日本に到着したフランシスコ・ザビエルは、当時の日本人の資質を高く評価し、また京都周辺の大学や足利学校を見聞して日本のミヤコに大学を創ることを構想し、364年後の1913年(大正2年)に上智大学が創立されました。記念ミサではその間のイエズス会会士の方々の献身的な努力とその後今日に至るまでの100年間に上智大学の発展に尽力された教職員、卒業生の皆さまへ感謝が捧げられました。

記念式典は舞台を東京国際フォーラムに移して、約4,200名の来賓・招待者、教職員、卒業生、在校生、後援会会員等が一堂に集い、ともに創立100周年を祝いました。

第一部は天皇皇后両陛下御臨席のもと、ルクセンブルク大公国のフェ



記念誌「上智の100年」と
記念映像Video

リックス王子殿下とクレア妃殿下はじめ、国内外から11名の御来賓のご出席を賜り、大学を代表する高祖理事長の挨拶に続いてローマ教皇フランシスコの特使、ラファエレ・ファリーナ枢機卿と日本私立大学団体連合会・清家篤会長(慶応義塾塾長)からご祝辞をいただきました。祝辞ののち本学のミッションや100年の想いを映像にまとめた創立100周年記念映像「叡智が世界をつなぐ」を、演奏と合唱に乗せて上映しました。

第二部では、感謝状の贈呈に続きイエズス会東アジア・太平洋協議会議長のマーク・レイパー神父と大学院地球環境学研究科のあん・まくどなと教授による講演および学生からの提言が披露されました。そしてフィナーレに新井満氏(70法法)がこの日のために作詞作曲した「神様のシンフォニー」が演奏されました。この作品は「アッジの聖フランシスコの平和の祈り」として広く知られている祈りを新たに自由訳・作曲したもので、本式典で初披露となりました。

午後6時半からはホテルニューオータニで学院主催の記念祝賀会が行われ、政府、教会、在日公館、国内外の大学関係のご招待客が和やかなひと時を過ごされました。

高祖理事長、滝澤学長一行が バチカンで教皇に謁見

9月25日、バチカンで高祖理事長、滝澤学長ら上智大学一行は教皇フランシスコに謁見しました。

教皇は上智大学の母体イエズス会の出身で「上智大学が日本の若者のためにはたしてきた文化的貢献に感謝している」と述べられました。ホアン・アイダル神父(准教授)は教皇のブエノスアイレスの修道院での教え子で、この日の朝食を共にし旧交を温めたそうです。教皇は、11月1日の創立記念式典への特使としてバチカン図書館・文書館名誉管理責任者のラファエレ・ファリーナ枢機卿の派遣を約束しました。



上智大学建学の精神を学ぶ

アンコール遺跡とミャンマーの旅

創立100周年記念事業の一環として企画されたアンコール遺跡とミャンマーの旅が8月6日から8日間行われ、総勢40人が参加しました。石澤良昭先生のサービス精神あふれる解説つきでアンコール遺跡めぐり、「シアヌーク・イオン博物館」の見学と「上智大学アジア人材養成研究センター」での講演、カンボジア・ソフィア会設立総会に参加し、バンテアイ・クディでは発掘も体験しました。最後はミャンマーで雄大な自然の中に点在する遺跡めぐりをしてまさに上智の建学の精神を学ぶ旅になりました。



創立100周年記念 スポーツイベント

柔道家・山下泰裕氏 スポーツ講演会が開催される!

4月23日(火)、上智大学創立100周年を記念したスポーツ講演会が、上智大学とソフィア会の共催で、ロサンゼルス五輪柔道無差別級金メダリストで国民栄誉賞を受賞した山下泰裕氏(東海大学理事・副学長・講道館柔道8段)をお招きして開催されました。会場の10号館講堂は、教職員・ご父母・卒業生・在校生670名の聴講者でほぼ埋まり大変盛況でした。

講演で山下氏は、柔道家としての経験から「子供たちが自らの夢の実現のため一歩ずつ前進するよう、大人も自らの生き方を行動で示すことが大事である」と説かれました。

最後に、プーチンロシア大統領との柔道を通じた親交について数々の逸話を披露され、学生の質問に丁寧に答えられて2時間近い講演を締めくくられました。



オールソフィアンズ大祝宴も 大盛会のうちに終わる

11月1日、上智大学100回目の創立記念日の夜、ホテルニューオータニ最大のバンケットルーム「鶴の間」にて「オール ソフィアンズ 大祝宴」が開催されました。

世代、学部、クラブ・サークルを超えて1500人ものソフィアンが集い、母校の創立100周年を盛大に祝いました。

イグナチオ教会の鐘の音に続き、ミュージカル俳優石井一孝さん(90 外西)の歌う「ハッピーバースデー」でソフィア会史上最大の宴会の幕は開きました。元日本テレビアナウンサー菅家ゆかりさん(81 文新)の司会で会は進行。冒頭、主催者代表和泉会長の挨拶では、卒業生の創立100周年募金目標達成の謝辞と新棟(ソフィアタワー)に入る新ソフィアンズクラブについての紹介がありました。乾杯は、コロンビアから駆けつけてくださったアンドラーデ神父にご発声をいただきました。

■メインコーナーは「神様のシンフォニー」

歓談の時間には、実力派ミュージシャンによる「オールソフィアンズバンケット・スペシャルカルテット」の演奏をBGMに、皆さん、ホテル自慢の料理に舌鼓を打ちながら、旧友や先生との会話を楽しんでいました。また、上智大学放送研究会制作による「上智大学100年の歴史」の映像やこの日参加できなかったヨゼフ・ピタウ先生の最近のご様子がスクリーンに映し出されました。

続いて、現役応援団による「100周年特別メドレー」が披露された後、この日正式に大学の公式キャラクターとして発表されたソフィアンくんの先導により高祖理事長、滝澤学長が入場。高祖理事長からは天皇・皇后両陛下もご臨席された記念式典について



熱唱「神様のシンフォニー」

のご報告がありました。

そしていよいよメインコーナー。新井満さん(70 法法)がこの日のために作った「神様のシンフォニー」を、新井満さんご本人、石井一孝さん、そしてこの日のために結成された学生コーラス「ソフィア・センチナリー・クワイア」の皆さんが見事に歌い上げました。アッシジの聖フランシスコの「平和の祈り」をベースとした歌は、まさに上智の精神に通じるもので、参加ソフィアンの心に響きわたりました。

■ソフィアンの新たなつながりの予感

最後は、応援団たった一人のリーダー部久保田祥平君(法国3年)のリードに合わせ、参加者全員が心ひとつになって校歌を歌い、お開きとなりました。

お開き口ではたくさんの笑顔があふれ、101年目以降に向けたソフィアンの新たなつながりの始まりを予感しました。



ソフィアタワー建設はじまる

(2016年3月竣工予定)

上智大学は創立100周年を機に教育研究環境の充実を図るため、各キャンパスの有効利用と施設設備の整備計画をすすめてきましたが、新棟の名称はソフィアタワーとして、いよいよ建設工事がスタートしました。

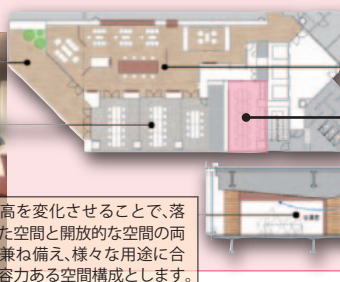
四谷の一等地の利点を活かし地域・環境と融和したソフィアタワーは、低層階に大ホール(800人規模)・上智の歴史ギャラリー・大中小の教室・研究室・大学事務室・ソフィアンズクラブ・ファカルティークラブ等を配置し、高層階はテナントオフィスとして活用予定です。

●●ソフィアンズクラブが新しくなります(ソフィアタワー8階メント側)

ソフィアンズクラブはクラブサロン・事務局・会議室3室により構成されます。会議室は通常時は仕切られていますが、イベント時などには3室一体にした使い方や、クラブサロンと一体とした使い方など様々な使い方が可能です。



新ソフィアンズクラブ(イメージ)



天井高を変化させることで、落着いた空間と開放的な空間の両方を兼ね備え、様々な用途に合う包容力ある空間構成とします。



四ツ谷駅からみたソフィアタワー

2号館から



卒業生の募金目標額10億5,000万円を達成!!

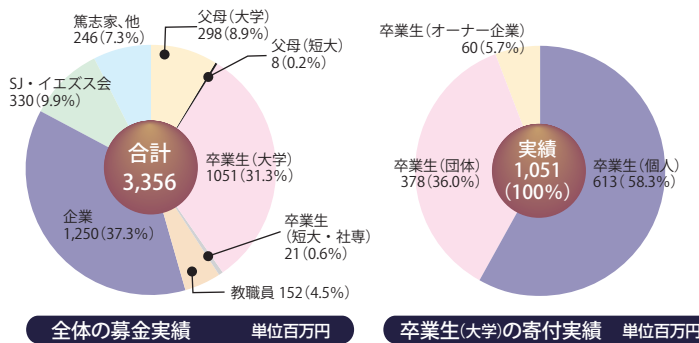
卒業生14,631人、1,001団体、27オーナー企業の皆様の熱きご協力に感謝!

2004年に始まった上智大学創立100周年記念事業募金活動は今年で10年目を迎え、これまでに卒業生から寄せられた寄付総額は、東日本大震災による被災学生就学継続支援募金の6,743万円も加わって10億5,130万円となり目標額を達成することができました。これは、大学全体の募金実績の31%を占めるもので企業298社からの寄付金12億5,000万円(同37%)に次ぐ大きな貢献といえます。

ご協力下さった卒業生は延べ14,631名、地域・各種ソフィア会をはじめ各グループ等の団体数は累計で1,001団体。また、10万円以上(法人は50万円以上)をご寄付下さった団体・法人・個人のお名前が2号館ロビーの銘板に刻まれた件数は4,450件(内個人は3,750人)に上りました。

団体の寄付では構成員の一人ひとりには寄付者としてカウントされませんが、実に多くの卒業生から寄付が寄せられていることは特筆すべきことです。学生時代のそれぞれの思い出の中に感動があり、今日の自分を支えてくれている母校への感謝の念を募金に協力することで表してくれた証でありましょう。皆様のご協力に重ねて深く感謝申し上げます。

募金期間は2014年3月まで残すところあと4か月となりました。皆様の最後のご協力をよろしくお願い致します。



募金総額(大学全体)の31%の貢献に感謝!

卒業生による募金協力は1977年の中央図書館建設募金からはじまり、その後図書館整備募金(1983~1985)、創立80周年募金(1992~1997)、そして今回の創立100周年募金(2004~2013)に至っています。募金実績推移にみられるように、当初の大学全体の募金総額への貢献は1%台と低いものでしたが、徐々にその比率はあがり今回の創立100周年は現在のところ31%を占めるまでになりました。これは卒業生の皆さんの母校への支援の気持ちの表れと感謝いたします。

<卒業生の募金実績推移>

	1977.12-1983.12	1983-1985	1992.12-1997.11
募金区分	中央図書館建設募金	図書館整備募金	創立80周年募金
卒業生(大学)	81百万円 1.30%	10百万円 1.40%	175百万円 12.10%
合計	6,048百万円 100%	729百万円 100%	1,450百万円 100%

2004-2013 現在

創立100周年募金

卒業生(大学)	1,051百万円	31.3%
合計	3,356百万円	100.0%

募金目標達成に至る道のり

◆ 卒業生の100周年募金活動は1号館煉瓦募金で始まった!

ソフィア会の創立100周年募金活動のスタートは、上智のシンボリック的存在である煉瓦造りの1号館の煉瓦1枚1万円募金でした。卒業生10万人が1万円ずつ出し合えば10万枚の煉瓦になる。煉瓦募金はソフィアの募金への動機づけとなりました。

◆ 「僕のルール・私の理由」

続いて、細川佳代子ソフィア会副会長(66文英)は募金委員会総会で、募金は自分自身で何らかのルールを決めて寄付するものとして、つまり「僕のルール・私の理由」を提言。福岡ソフトバンクの和田投手の例を挙げられました。勝利投手になったらワクチン20本、完投勝利で30本、完封したら40本等々。

この提言は多くのソフィアの指針となりました。「在学時代に受けた奨学金の一部を」、「還暦・誕生日の記念に」、「結婚記念日に」、「初孫の誕生祝って」、「子供の上智入学で」等と様々な「僕のルール・私の理由」で数多くの寄付が寄せられ始めたのです。

◆ “恩師の名前を銘板に!”

ユニークな募金方法“恩師の名前を銘板に!”は、気持ちはあっても個人で少額を寄付するのは気が引けてという多くのソフィアの心を揺さぶりました。仲間10万円を集めてゼミ、研究室やクラブ活動等でお世話になった恩師の名前を2号館ロビーの100周年記念事業寄付金銘板に刻もうとの動きが大いに盛り上がったのです。



◆ 東日本大震災被災学生を支援しよう!

2011.3.11の大震災の被災学生支援のための大学と連携してはじめた緊急募金に多くの卒業生が被災学生の就学継続を願い寄付してくださりました。

◆ 地域・各種ソフィア会やグループ・イベントによる寄付

また、卒業生が学生時代に所属したクラブへの活動支援金目的の募金、国内外の地域ソフィア会はじめ学部学科、各クラブOB・OG会や職種別各種ソフィア会が募ってくれたご寄付、金銀銅祝や「ピタウ先生が語る会」はじめ定例のイベントや祝賀会で集まったご寄付も募金の促進に大きく寄与しました。

卒業生の皆様の善意が大きな力となり募金目標達成につながりました。

3.11を忘れない!

東日本大震災被災学生への就学継続支援募金をお願い

世界中が驚愕した2011年3月11日の東日本大震災から早くも2年8か月が過ぎました。これまでに卒業生をはじめ学生ご父母、教職員、企業、篤志家、海外イエズス会系大学の学生・教職員、海外イエズス会修道院等から合計1億5,185万円余(内卒業生の寄付額は6,743万円)ものご寄付が寄せられています。こうした多くの人々の善意に支えられて、大学は2011年から授業料等学生納付金減免や生活支援金として特別措置を行い、支援を受けた卒業生

や在学生のご父母の方々から多くの感謝のお手紙をいただいています。

2014年度についても、新入生および在学生を合わせて約40名の学生に3,000万円程の給付を見込んでおり、ソフィア会は今後も継続して協力を呼び掛けて参ります。

これまでの皆様の温かいご支援に心から御礼を申し上げますと共に、引き続き皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

100周年記念拡大東京大会が開催

10月19日~20日

ソフィア NEXT100 プロジェクト、キックオフ!!

10月19日~20日、「100周年記念拡大東京大会」が上智大学四谷キャンパスで開催されました。この大会は、過去4年にわたって開催されてきた「地域ソフィア会全国大会」の第5回大会ですが、参加募集をすべてのソフィアンに“拡大”して、創立100周年を母校で祝うとともに、次の100年に向けたソフィア会の新たな活動「ソフィアNEXT100プロジェクト〜暮らしにもっと、ソフィアを」のキックオフ大会でもあります。

全国からの参加の利便性も考慮して「秋季全国代議員会」と同日開催とし、代議員会終了と同時に大会がスタート。開会式では和泉ソフィア会会長の開会の辞、佐藤正由起大会実行委員長(71理機)の大会の意義の説明に続いて、来賓の高祖理事長、滝澤学長からご挨拶をいただきました。

ワークショップとパネルディスカッションで提言

その後はNEXT100プロジェクトが提案する「ソフィアの新しいつながり、居場所」の具体例として14のワークショップを各会場に分かれて開催。それぞれスタートしたばかりの活動ですが、参加された皆さんには「何か」が確実に伝わったようです。1時間半におよ



ワークショップの一つ「アフリカを知ろう」

ぶワークショップ終了後、参加者は再び10号館講堂での「全体会議」に集合。はじめに、「ソフィアNEXT100プロジェクトからの提言」と題し、和泉会長がコーディネーターを務め、濱口敏行氏(ヒゲタ醤油代表取締役社長、67経経)、竹之内祥子さん(シナリオワーク代表取締役、78文英)、我謝京子さん(ロイター社アンカー&シニアプロデューサー、87外西)、初沢亜利氏(フォトグラファー、00文社)の5名によるパネルディスカッションを行いました。パネリストからはそれぞれが参加されたワークショップの概要や今後のソフィア会活動、このプロジェクトに対する想いなどが語られました。最後のまとめで、プロジェクトが果たす役割、意義なども提示され、会場の皆さまも共有されたようです。



左から
和泉会長
初沢亜利氏
濱口敏行氏
我謝京子さん
竹之内祥子さん

「ソフィア会 NEXT100宣言」が発信される

この流れに沿って、ソフィア会の今後の100年に向けた決意「ソフィア会NEXT100宣言」を司会の中村慶子さん(NHKアナウンサー、05理化)が高々と読み上げ、会場の雰囲気は最高潮に達しました。会議のプログラムの終わりに、来年の第6回全国大会開催地、新潟ソフィア会の藤沢直子会長(77文教)へ委嘱状が手交され、藤沢さんからは“おもてなし”の決意表明がされて全体会議は終了しました。

懇親会で大団円!

この後は会場を2号館マルシェに移しての「懇親会」。実行委員の司会による“はじけた”パフォーマンスで開会し、石澤前学長からも乾杯のご挨拶をいただき、参加者皆さんの笑顔があふれた暖かい雰囲気では進みました。



和泉会長開会の辞

少林寺や応援団(チアリーディング部)による演技でさらに盛り上がり、戸川副会長による参加者へのお礼と実行委員へのねぎらいの言葉に続いて、参加者全員による校歌大合唱でフィナーレ。100名近い方々はこの後主婦会館の二次会でさらに盛り上がったようです。



校歌の大合唱

ピタウ先生と再会

翌20日はエクスカーション。祖師谷国際交流会館、石神井キャンパス、目白聖母キャンパスという、恐らく卒業生のほとんどが今まで訪れたことがない上智の施設・キャンパスを巡り、最後に東京スカイツリーに昇る、“ソフィアスペシャル・バスツアー”でした。ハイライトはなんといっても、石神井でピタウ元理事長・元学長に訪問者全員の手を取られ話しかけていただいたことです。



2日間にわたった拡大東京大会もかくして無事盛会裏に終了。1年半の長期間準備に携わってくださった実行委員の皆さま本当にご苦労さまでした。また、近くから遠くからご参加くださった皆さまありがとうございました。

新潟からアジアへ!

第6回地域ソフィア会全国大会は新潟に決まりました

新潟はロシア、韓国、中国他アジアとの日本海側貿易、文化交流窓口です。新潟を通じてソフィアンとアジアが手を繋ぐ! そんなコンセプトで新潟ソフィア会の皆さまが全国大会の企画を練っています。この大会は、次の100年を見据えた「最初は小さな点や線が存在であっても、互いに連携していずれ大きな面となり、輪となって、世界の中で平和と人々の幸せに貢献することを目指す」というソフィア会の宣言を実行に移すための機会でもあります。新潟のソフィアンが新鮮な海の幸と淡麗なお酒におもてなしの心を添えて、皆さまの参加を心待ちにしています。

日程: 2014年9月27日(土)~28日(日)
会場: ホテルオークラ新潟



新潟ソフィア会藤沢会長の決意表明



新ソフィアンズクラブ建設へ 1億円および売上寄付を決議

東日本大震災被災学生への追加支援金も

5月18日(土)14:30から、2013年度ソフィア会春季全国代議員会が母校3号館521教室で行われました。当日は348名が参加(委任状提出を含む)。冒頭、和泉会長から昨年度重点施策の状況報告や本年度の施策説明があり、高祖理事長、滝澤学長のご挨拶の後、議案の審議に移りました。主な議案は待望の新ソフィアンズクラブが2016年3月竣工予定の新棟の中に実現する運びとなり、その建設費相当1億円と賃料の一部見合いとして、新クラブの売上を学院に寄付するというもの。本件を含め6つの議案について審議し、満場一致で可決しました。

決議された議案と主な内容

- ①次期ソフィアンズクラブ建設に伴う募金について承認
建設費相当1億円(ソフィア会積立金より拠出)と新クラブの売上を賃料の一部見合いとして寄付。
- ②東日本大震災被災学生への追加支援金320万円を承認
- ③2012年度事業報告・決算報告案および2013年度事業計画・予算案を承認
- ④ソフィア会会則条文の一部改訂を承認(5月18日より施行)
- ⑤新規登録申請団体(地域・各種ソフィア会)7団体を承認
(地域)札幌女子ソフィア会、とちぎ帯広ソフィア会、フランクフルトソフィア会
(各種)上智大学体育会競技ダンス部OB・OG会、橡子会、上智新聞インテル会、上智大学理工学部同窓会
- ⑥第2期代議員の総数、カテゴリーごとの人数並びに新規代議員および補充代議員14名を承認
上限枠610名(一般被推薦代議員360名、地域・各種ソフィア会代表110名、残140名)



(単位:円)

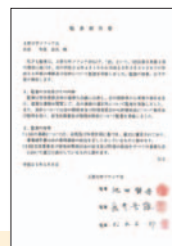
2012年度収支決算書

自2012年4月1日～至2013年3月31日

項 目	2012年度予算(円)	2012年度実績(円)
【収入の部】		
1 同窓会積立金(終身会費)(注1)	54,800,000	56,275,000
2 入会金収入	900,000	1,120,000
3 維持会費(任意)収入	6,000,000	2,899,665
4 上智学院預け金利息	4,400,000	4,524,025
5 カード手数料収入(注2)	4,000,000	3,974,398
6 クラブ使用料収入	2,600,000	2,268,100
7 受取利息	20,000	1,387
8 その他収入(ネットショッピングなど)(注2)	600,000	568,604
収入計	73,320,000	71,631,179
【経常支出の部】		
1 事務局費		
事務局費用	14,140,000	12,220,339
2 事業費		
①広報費・ホームページ	6,310,000	6,378,216
②ソフィアンズクラブ	5,150,000	5,340,818
③創立100周年記念募金	11,000,000	11,000,000
東日本大震災被災学生支援		3,200,000
④ASF運営費	4,000,000	3,749,155
⑤ソフィアンズカード入会推進費	200,000	33,021
⑥地域・各種ソフィア会連携推進費	4,300,000	4,213,768
⑦学生課外活動支援費	8,000,000	8,000,000
⑧その他行事	4,920,000	4,919,751
(寄付講座費、学生支援費、金銀銅祝、ゴルフ、クリスマス、顕彰費等)		
⑨ITインフラ支援	1,000,000	981,000
⑩100周年事業費	3,000,000	1,547,543
3 予備費	1,300,000	0
4 基金積立額	10,000,000	10,000,000
経常支出計	73,320,000	71,583,611
当期収支(収入 - 経常支出)		47,568
積立金		
期首積立額	450,605,449	450,605,449
基金積立額	10,000,000	10,047,568
期末積立額	460,605,449	460,653,017

(注1) 同窓会積立金(終身会費)は、学生が納入した時点で、これを分割前払で納入したものととして、ソフィア会の収入として計上し、同時に上智学院に預けています。

(注2) カード収入、一粒の種(ネットショッピングなど)の収入は、その案内の趣旨から、全額を、課外活動支援、被災学生支援の目的指定の募金に優先して充当しました。



2013年度 ソフィア会重点施策

- 1 上智大学の創立100周年記念事業募金目標達成
(目標10億5000万円募金(現在約84%)達成に向けて)
○新ソフィアンズクラブ建設決定に伴う1億円寄付
○新ソフィアンズクラブ設立を機に上智大学の教育研究および奨学金支援目的のサポート会員制度スタート
○銘板記載をテーマに個人・団体募金の推進と募金協力の広報強化
○被災学生支援募金をはじめ指定目的募金の推進
○ソフィア会行事や地域・各種ソフィア会行事を通じて協力要請
○募金グッズ/ショッピングアフィリエイト/ASF、ASC等イベントを通じて裾野拡大
- 2 上智大学創立100周年記念ソフィア会記念行事の実施と次の100年へ向けての始動
○ASF記念祭/拡大全国大会/祝賀会/音楽祭/スポーツイベントの実施
○校歌2部合唱の普及/次の100年に向けての企画
○2009年から実施の創立100周年企画ソフィア・ルネッサンス連講演会の最終章
- 3 最高議決機関としての全国代議員会の役割強化と参加率向上策
○代議員のWeb・メール利用の周知と利用率100%をめざす
○次期ソフィア会2014年度役員(会長・副会長・監事・代議員)選考の準備

- 4 ソフィア会会員の絆の強化と顕彰
○ソフィア会WEBへの投稿の推進(地域・各種ソフィア会への呼びかけ)
○月2回配信メールニュースによる絆強化とメール会員増強計画
○ソフィア会FACEBOOKのいいね!1万人計画
○ASF/ASC/ゴルフ大会等企画
○ソフィア会活動に永年尽力された方の顕彰
- 5 地域・各種ソフィア会活動に対する連携・支援体制の強化
○学部学科同窓会の設立に関して大学と協同して積極的支援
○地域ソフィア会第5回全国大会(拡大東京大会)実施によるネットワーク・絆強化
○第1回アジア・ソフィア会開催(香港・マカオ)
○地域・各種ソフィア会へ各種協力の強化(事務局への支援ルール)
○大学行事と連携しての支援強化
- 6 現役学生支援態勢強化と学生との連携企画の充実
○継続的課外活動支援(予算800万円計上)
○就活支援企画を各種ソフィア会の協力のもと大学と連携して実施
○学生との連携企画 ASF/AFC等
- 7 ソフィア会の健全な発展に向けて維持会費(任意)の協力依頼を強化
○年間1500人500万円をめざし協力依頼と広報活動の強化
○自動引落し利用者の増強

ソフィア会次期役員 選考委員10名を選出

ソフィア会は10月19日(土)、2013年秋季全国代議員会を開催。当日は拡大東京大会もあり、333名(委任状含む)が参加しました。初めに和泉会長が2013年度重点施策の進捗状況等を報告。創立100周年記念募金の卒業生募金が目標額に達成したとの喜ばしい報告がありました。議案の審議では、役員選考委員会の任期満了に伴い次期委員10名を選出するなど4つの議案を満場一致で承認。報告事項ではソフィアンズ顕彰者表彰式が初めて行われ、ソフィアンの輪を広げ尽力された15名の方々が表彰されました(11頁参照)。

アンドラーデ神父に感謝状

代議員会冒頭、創立100周年記念日を前にコロンビアから来日していたアンドラーデ神父にソフィア会から感謝状が贈られました。教鞭をとる傍らソフィア会事務局長として6年間運営に尽力されたことが理由です。



アンドラーデ神父(写真右)

第3回ソフィア会会員大会を開催

5月26日母校10号館講堂では金・銀・銅祝式典に続いて、ソフィア会会員大会が開催されました。まず和泉会長が会務報告として2012年度重点施策の実施報告を行いました。100周年記念事業募金では目標額10億5,000万円の84%まで達成。「創立記念日11月1日までに目標達成を」と一層の協力を呼びかけました。報告の中で特に注目を集めたのは、新ソフィアンズクラブ設立が実現に向けて動き始めたという喜ばしいニュース。2016年3月に竣工が予定されている新棟の中に現在の4倍の規模、事務局も併設されるという概要が紹介されました。会務報告の後、100周年記念ソフィア会事業について戸川宏一実行委員長(63経商/副会長)が今後のスケジュールや内容を紹介。最後に100周年記念祭ASFの実行委員長、濱田大輔氏(04理機/常任委員)が開会を宣言。100年に1度のASFがスタートしました。



式典に続けて開かれた会員大会

“ミスター・ソフィアン” 諸橋晋六氏(元ソフィア会会長)逝く



ペテロ・フランシスコ諸橋晋六氏(元ソフィア会会長・元三菱商事社長/47経経)が、6月23日逝去され、その葬儀ミサ・告別式が7月2日聖イグナチオ教会でしめやかに行われました。諸橋氏は、大戦中学徒動員で兵役にも従事し、戦後は日本経済復興とともに歩んでこられました。激務の商社活動の中ソフィア会長として会の発展(ソフィアンズ・クラブ、ソフィアンズ・ゴルフ大会の創設など87-99年在任)に尽力され、文字通り“ミスター・ソフィアン”そのものでした。9月19日には、「お別れの会」



が、(株)三菱商事主催によりホテル・ニューオータニで行われました。祭壇には諸橋氏のにこやかに微笑む大きな写真が飾られ、静かな音楽が流れる中を、参列者は献花。3千人入るといふ会場は満員でした。また若い頃の写真や受賞された勲章なども展示され、改めて諸橋氏の偉大さが偲ばれました。

決議された議案と主な内容

- ①ソフィア会次期役員選考委員10名を選出(敬称略)
(常任委員) 風間烈(65外仏)、枝川葉子(72外独)、阿見利治(73理数)、八木達郎(74経営)、宇佐美諭(75法法)
(代議員) 柳本信一郎(63経商)、三溝真季(84法法)、山本雅子(64外仏)、上原隆一(76経営)、星野正樹(81法法)
- ②推薦代議員5名を承認
- ③新規登録団体(地域・各種ソフィア会)10団体を承認
(地域) 徳島ソフィア会、カンボジア・ソフィア会、大磯ソフィア会、UAE ソフィア会
(各種) ソフィアンズスキーの会、ソフィア俳句会、上智大学神学部同窓会、ソフィア・森の長城プロジェクト会、フランス文学科ソフィア会、サントリーソフィア会、
- ④推薦会員2名を承認
小出悠人氏(13 外独相当)、安楽真理子さん(92 比文相当)

金・銀・銅祝式典盛大に

5月26日、母校主催の金・銀・銅祝式典が四谷キャンパス10号館講堂で行われました。100年に一度の幸運な、卒業後50年の金祝(1963年卒)は843名、卒業後25年の銀祝(1988年卒)は2,160名、卒業後15年の銅祝(1998年卒)は2,369名。当日は約680名が出席し盛会となりました。滝澤学長が式辞の後、ラテン語で書かれた祝状と花束を各代表に贈呈。高祖理事長と和泉会長の祝辞の後、NHK解説委員の道傳愛子さんら金祝・銀祝・銅祝の各代表が謝辞を述べました。速く海外から駆けつけた卒業生もいて、母校への思いと絆の強さを感じさせられました。



金・銀・銅祝の代表の方々

式典での代表の方々(敬称略)

<金祝1963年卒>	<銀祝1988年卒>	<銅祝1998年卒>
謝辞: 山田修平(外西)	謝辞: 道傳愛子(外英)	謝辞: 三浦美穂(文仏)
祝状: 堀 信行(経経)	祝状: 近江正芳(理物)	祝状: 米澤里恵(文仏)
花束: 小山恵子(文国)	花束: 徳永真理(神神)	花束: 古賀若奈(文哲)

1963年卒業金祝実行委員会 細川護熙氏(63法法)揮毫の額を寄贈

1963年卒業金祝実行委員会(堀信行委員長/経経)は、さる6月12日同年卒業生である元首相細川護熙氏揮毫の額を母校創立100周年記念し100年後の後輩のために有志一同と寄贈しました。



額を前に高祖理事長と1963年卒業金祝実行委員会メンバー(中国唐時代の宰相裴相国の言葉“其言簡・其理直・其道峻・其行孤”が墨されている)



オールソフィアンの集い

All Sophians' Festival

100周年記念祭 ASF

5月25,26日、100周年記念祭ASFが、盛大に行われました。
ご来場頂きました皆様、ご協力頂きました皆様、ご関係者、実行委員、皆様に心より御礼申し上げます。
24,375名の方にご参加頂き、テーマ『100年に一度の日曜日へ。』の通り、100周年を盛大に祝うFestivalを行うことが出来ました。
上智大学の歴史(精神)を振り返り感謝する展示、100周年を祝い、今を知り楽しむ、同窓会、模擬店、ステージでのパフォーマンス、そして未来に繋がる講演会や企画が多数行われました。
皆様楽しんで頂けましたでしょうか。
参加された皆様、またその様子をお聞きになった方は、上智大学を通じた繋がり大切さや強みを感じて頂けたのではないのでしょうか。
ASFは年に一度5月の末に開かれます。
101年日以降も皆が楽しんで集まれるASFが続くよう、願っております。
『オールソフィアンで創り、オールソフィアンで楽しむ』会になることを期待しております。
また2014年5月末の日曜日、四谷キャンパスでお会いしましょう。

100周年記念祭ASF実行委員会委員長 濱田大輔



記念すべき100周年のASFスタッフの皆さん



晴佐久昌英神父講演



齋藤ウィリアム浩幸さん講演



三森ゆりかさん講演

LECTURE



中川誠人さん講演



安河内哲也さん授業



荻野文子さん授業



STAGE

ダンス、コーラス、演奏など多彩なパフォーマンスが繰り広げられた熱いステージ。



カリー元学長恒例の弾き語り



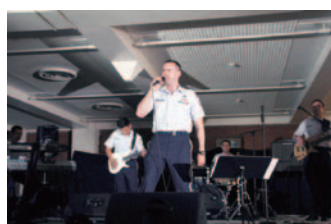
司会は川島葵さん



美の競演、留学生ミスコン



ワクワク、ドキドキ、抽選会



前夜祭でも大いに盛り上がる





ソフィアレーシングのフォーミュラカー展示



お腹が空いたらフードコートへ



路上ライブ(?)開催中のハモリ隊



毎回好評の学内ツアー



紀尾井町会の皆さん



麹町町の皆さん



SJガーデン



フードコート



東北支援「森の長城プロジェクト」

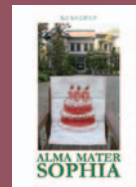
OPEN AIR



多くの人で賑わうメッセ



東北支援「まけないぞう」



『ALMA MATER SOPHIA 一私たちの上智大学』はASF当日に発行されました。ソフィアンによる恩師への謝辞を中心に、懐かしい写真で歴史を振り返り、現役教授による記事で未来を展望する小冊子はソフィア会事務局でお取扱いしています。



東北支援「3万個の積み木で作るアンコールワット」

INDOOR



上智大学100年の歩み



貴重なお話しも伺えた神父カフェ



看護師によるバンドケア



真剣な表情で対局「チェスと将棋コーナー」



子供達の歓声が響くボールプール



ギルトチャリティーバザー



石澤良昭先生の説明会



ソフィア会会員大会



日本語スピーチコンテスト



小山栄美プロ棋士に挑戦! 交流の輪を広げた「ゆるこん」



CEREMONY



なごやかな雰囲気銀祝会場



銀祝オリジナルケーキ

次の100年への第一ステップ >>> 101年目の All Sophians' Festival >>> 2014.5.25

長年のソフィア会への貢献に感謝をこめて

ソフィア会はこれまで多くのソフィアのサポートに支えられてここまで成長してきました。ソフィア会では母校の創立100周年記念を機に、ソフィア会に顕著な貢献をされた会員を顕彰すべく2011年春の全国代議員会で承認をいただいて顕彰委員会を設置し、ソフィアズナウの誌上にもその報告をして顕彰候補者の推薦をお願いしてきました。

顕彰委員会ではその後顕彰者の選考など検討を行い、常任委員会の決定を経て、本年10月19日(土)開催された秋季全国代議員会の席上で以下の15名の皆さまを顕彰し、ソフィア会活動に対する長年の熱意とご尽力に対してソフィア会会員一同の敬意と感謝のしるしとして顕彰状「ソフィアズ顕彰」と記念品「ピンバッジ」をお贈りしました。



左から、小林章雄様、大谷啓治様、長谷川 祐様、中島貞夫様、深澤萬民様、徳永英生様、吉田 勉様、城木浩一様、菅 佳夫様



本多義人様



剣持睦子様



濱口浩三様



新納春雄様



白木一二様



幕田正夫様

大谷啓治氏のご挨拶



顕彰者を代表して、大谷先生から「1948年に入学したころ男だけの小さな大学だった上智が、今は評価の高い12万人の卒業生を数える大きな大学になりました。その母校の同窓会からからご褒美をいただき感謝無量です。大学の益々の充実とソフィア会の発展を祈ります」との、簡潔ながら感動的なご挨拶をいただきました。

顕彰 バッジ



ソフィア会を鷺の翼とたとえると、その羽根の一本一本がソフィア会会員という思いを込めた鷺の羽根をデザインしたピンバッジにΣΟΦΙΑの文字を入しました。

顕彰状



顕彰者のお名前

ソフィア会の主な活動歴

小林章雄様 (1951年文学部哲学科卒)	元ソフィア会副会長
大谷啓治様 (1953年文学部哲学科卒)	元ソフィア会会長
本多義人様 (1961年経済学部経済学科卒)	前ソフィア会会長
剣持睦子様 (1967年文学部ドイツ文学科卒)	元ソフィア会副会長・前ソフィア会事務局長
濱口浩三様 (1944年専門部新聞科卒)	マスコミソフィア会会長
新納春雄様 (1947年経済学部経済学科卒)	グリークラブOB会名誉会長
長谷川 祐様 (1955年経済学部経済学科卒)	藤沢ソフィア会会長
中島貞夫様 (1955年経済学部経済学科卒)	体育会OB会顧問(元会長)
徳永英生様 (1955年経済学部経済学科卒)	前福岡ソフィア会会長
白木一二様 (1957年経済学部経済学科卒)	前熊本ソフィア会会長
吉田 勉様 (1957年経済学部経済学科卒)	さいたまソフィア会会長
深澤萬民様 (1959年文学部英文学科卒)	山梨ソフィア会会長
城木浩一様 (1961年法学部法律学科卒)	札幌ソフィア会会長
菅 佳夫様 (1963年外国語学部フランス語学科卒)	フランス・ソフィア会会長
幕田正夫様 (1971年文学部英文学科卒)	サンパウロソフィア会会長

顕彰に際していただいたコメント

本多義人様:昭和30年代の初めソフィア会の再構築に努力されていた昭和一桁卒業の大先輩たちの下働きを学生時代から長年他の多くの方々と一緒にして来た丈の私が顕彰されたとはまことに汗顔の至りで恐縮です。ただ、上智の精神が今なおソフィア会の中に脈々と流れていることは本当に嬉しい事です。

濱口浩三様:この度は名誉ある賞を授けて頂き、誠にありがたく御礼申し上げます。報知新聞から東京放送とマスコミの世界において真実を伝え世に問うことのなんたるかを追求してきた、その精神は大学時代に培われたものであり常に自らの基底にあった。感謝と共に本学の発展を祈念したい。

* * * * *

なお、顕彰された方々からいただいたコメントはメールニュースとソフィア会ホームページにて紹介させていただきます。

2014年2月15日(土)法学部同窓会設立!

総会および懇親会のご案内

法学部および法学研究科卒業生が集結し、卒業生(約14,000人)と教職員で構成

上智大学創立100周年を機に「上智大学法学部同窓会」を設立することになりました。法学部および法学研究科の卒業生約14,000人と教職員(退職教員含む)で構成する大規模な同窓会が誕生します。



法学部生が学んだ3-521教室

来る2014年2月15日(土)に下記要領で記念講演会・設立総会と懇親会を予定していますので、卒業生・教員の皆さんは是非ご出席ください。

(記念講演会の詳細は別途ソフィア会HP (<http://www.sophiakai.gr.jp/>)でご案内します)なお、当日は法学部および法学研究科創設以来お世話になった先生方をお招きする予定です。

□ 記念講演会・総会・懇親会について

- ①日時/2014年2月15日(土)14:00~18:30 ②講演会・総会場所/上智大学2号館17階国際会議場 ③懇親会/上智大学2号館5階学生食堂 ④会費/4,000円 ⑤申込方法/ソフィア会HP (<http://www.sophiakai.gr.jp/>)より必要事項記入の上お申し込みください。

法学部同窓会設立発起人リスト (卒年順)

発起人96名のうち誌面の都合上、卒年毎に2名以内で表記しました。ソフィア会HP上では発起人全員のリストがご覧いただけます。

1961~1972/城木浩一(61法法)、細川護熙(63法法)、堀口彰(66法法)、中嶋士元也(68法法)、添田悦子(69法法)、中村大利(69法法)、新井満(70法法)、藤田和芳(70法法)、穴戸周夫(71法法)、江川健二(72法法)、牟田哲朗(72法法)

1973~1982/岩城光英(73法法)、辰巳貞一(73法法)、白井祐一(74法法)、高嶋晴生(74法法)、梅原正(75法法)、平野真弓(75法法)、高山雄一(76法法)、埴由博(76法法)、野口泰之(78法法)、渡部克也(78法法)、津久井博次(79法法)、菅原裕二(80法法)、津江研二郎(80法法)、菊地美穂(82法法)、村松雄太(82法法)

1983~1992/杉本浩二(83法法)、望月伸一郎(83法法)、黒須良行(84法法)、三溝真季(84法法)、北野(井口)雅元(85法法)、矢島基美(85法法)、田中肇(86法法)、熊谷直樹(86法法)、藤田真由美(87法法)、沢渡直(87法法)、Jung Kwang-Sup(88法法)、澤田知子(90法法)、自見修真(90法法)、磯恵一(92法法)

1993~2013/渡邊茂樹(95法法)、高野良子(98法法)、藤本洋生(00法法)、中村光輝(01法法)、船津桂(06法法)、南谷英幸(06法法)、岡宗佑(07法法)、篠崎まどか(08法法)、百々祐介(09法法)、玉木宏幸(09法法)、鈴木翔子(11法法)、下村恭子(13法法)、伊奈枝里子(13法法)
教員/滝澤正(学長・教授)、江藤淳一(学部長・教授)、古城誠(教授)

お問い合わせ先(右記メールアドレスにご連絡ください。) hougakubu-alumni@sophiakai.gr.jp

理工学部同窓会活発に始動! 事業計画が決定し、奨学金や新規事業がスタート

5月26日理工学部同窓会設立総会が開催され、約200名の参加を得て盛会の内に終了しました。設立総会開催以降同窓会では月1回の理事会に加えて、理事会のもとに設けられた6つの委員会(事業企画、広報、総務、財務、組織、名簿管理)の活動を開始し、2014年度(2013年10月から2014年9月末)の事業計画を決定しました。この事業計画は、11月にオープン予定の理工学部同窓会ホームページでご覧いただけるようにいたします。



□ 同窓会活動への参加者募集

上記6委員会のうち、5つの委員会では、一緒に活動して下さる方(委員会委員)を募集しております。ご興味のある方は、理工学部同窓会メールアドレス(rikougakubu-alumni@sophiakai.gr.jp)宛にご連絡ください。(委員会の詳細は理工学部同窓会HPをご覧ください)

□ 終身会費の納入のお願い

上智大学理工学部、理工学研究科の学生に対する奨学金や研究費の支援と各種講演会の開催、会員相互の交流会・研究会の開催等々の事業実現に向けて、有効に活用させていただきます。この同窓会活動を支える終身会費(1万円)納入に是非ご協力をお願いします。

振込先: ゆうちょ銀行 振込口座記号番号: 00120-6-790212

上智大学理工学部同窓会(ATMからは〇一九(ゼロイチキュー)店 当座 0790212)

お問い合わせは下記までメールにてご連絡ください。

rikougakubu-alumni@sophiakai.gr.jp

ドイツ語学科同窓会 奨学金・スピーチコンテストに協力

ドイツ語学科同窓会は、「松本あす加・ドイツ語学科奨学基金」に協力しています。この基金は、ドイツ留学直前に非運の交通事故でなくなった松本あす加さん(当時2年生)の果たせなかった夢を繋げようと、同じ志を持つドイツ語学科生のドイツ留学を援助するもので、今春設立されました。2013年5月26日の総会では、あす加さんのお父様からお話を伺い、基金の拡充を再確認しました。また、ドイツ語振興サークル、ドイツチェリリンクが主催するドイツ語スピーチコンテストの後援も同窓会活動のひとつに位置づけ、2013年12月15日に開催される第2回ドイツ語スピーチコンテストから支援を開始します。



フランス文学部同窓会が設立されました

文学部フランス文学部では、上智大学100周年を機に卒業生有志が発起人となり、本年9月にフランス文学部小倉博孝学科長はじめ先生方と連携して、「フランス文学部同窓会」が設立されました。会長には細郷輝久(71文仏)氏、副会長梅本純子(82文仏)さんと役員3名、発起人20名です。

今は亡きジャック・ベジノ先生が毎月開いてくださっていた「第四金曜日会」(勉強会)や、今年5月のオールソフィアの集いでの「仏文カフェ」がきっかけとなりました。それぞれの過去・現在・未来に想いを馳せ、集う場として活動します。今後の活動予定は、ソフィアンズ・ナウやソフィア会のHP等で告知。来年5月のオールソフィアの集いに、第1回同窓会を開催する予定です。

国際教養学部 (比較文化/外比/国際部)

同窓会設立準備委員会が始動!

国際教養学部は来年の5月ASFでの設立総会に向けて準備がはじまりました。

林道郎学部長・岡田仁孝前学部長をはじめとして国際部・比較文化学部・外国語学部・比較文化学科・国際教養学部の卒業生の皆さんが準備会をスタートさせました。国内外で活躍している皆さんと母校の創立100周年を機に卒業生・教職員のつながりをつくっていきたいと思います。ご興味のある方・お手伝いくださる方は、メールアドレス fla-alumni@sophiakai.gr.jp にご連絡ください。

九州ソフィア会

開催日：2013.09.07

九州ソフィア会25周年大会 in 福岡



上智大学100周年となる今年、九州ソフィア会は25周年。九州ソフィア会発足の呼びかけ人である細川護熙氏(当時熊本県知事)を講師に迎え、九州各地のソフィア会(福岡/北九州/佐賀/宮崎/大分/熊本/長崎/鹿児島)が一堂に集まり100名を超える盛大な会となりました。

また来賓として上智学院からは舌津財務担当理事、ソフィア会からは和泉会長、石川副会長が参加。海外からは韓国ソフィア会も参加され、また出張中のソフィアンも飛び入りで参加する和やかな会が9月7日、福岡市のソラリア西鉄ホテルで開催されました。

講演会では、九州ソフィア会名誉会長でもある細川護熙氏が戦国を生き抜いた知恵と題して細川家にまつわる秘話を膨大な資料に基づきお話をされ参加者は聞き入っていました。

九州ソフィア会は九州地区のソフィア会が持ち回りで幹事となり企画され、九州ソフィア会の旗のもと集まる大変ユニークなソフィア会です。この発想が地域ソフィア会全国大会の山梨大会や函館大会では、コホストとして近隣の県のソフィア会が協力する形で生かされています。11月に開催されたアジア・ソフィア会も香港ソフィア会が幹事となり第一回会合が香港・マカオで実施されました。

来年の九州ソフィア会は、鹿児島で開催されることも決定。九州在住の方、九州出身の方に限らず、近県の方々も気軽にご参加ください。



細川氏の講演風景

マスコミ・ソフィア会

【第23回コムソフィア賞】**嶋 浩一郎氏** (93 法法)

塩塚博氏 (79 経経)、**鐸木能光氏** (78 外英) が受賞

第26回マスコミ・ソフィア会総会・第23回コムソフィア賞授賞式が、さる6月22日9号館地下カフェテリアで開催されました。会の年次総会終了後、コムソフィア賞授賞式と受賞記念講演会が行われました。

第23回コムソフィア賞には、出版不況と言われる時代に新風(「本屋大賞」の企画推進)を起こし、雑誌編集や書店経営にまで挑戦している嶋浩一郎氏(93法法・博報堂ケトル社長)が受賞しました。また同特別賞には、駅の発車メロディー(駅メロ)の作曲で活躍されている塩塚博氏(79経経/作曲家・ギタリスト)と『裸のフクシマ 原発30km圏内で暮らす』を著すほか、



受賞者の嶋氏



受賞者の記念写真左より鐸木氏、原俊彦氏(嶋氏海外出張のため代理)、塩塚氏

ネットを駆使し従来のメディアにない視点で今の日本社会に警告を発している鐸木能光氏(78外英/音楽家・評論家)がそれぞれ受賞され、記念講演をされました。

(<http://www.cumsophia.jp>)

創立100周年記念行事

オールソフィアンズ・ミュージック・アンド・ダンス・フェスティバル開催

去る10月12日(土)の午後から夜にかけ、10号館講堂をメイン・ステージとして、上智大学創立100周年記念行事のオールソフィアンズ・ミュージック・アンド・ダンス・フェスティバル(ASMaD)が開催されました。出演して下さった皆さま、観客・聴衆の皆さま全員が大満足だったのではないかと思います。できればオールソフィアン、全学生に見て・聴いて欲しいイベントでした。

当日は15:00きっかりに元テレビ朝日アナウンサー、雪野智世さん(86文新)の司会進行でスタートし、20:00に全員参加してオリジナル曲“Show Me Your Dream”と“Twist and Shout”を合唱するフィナーレまで5時

ドイツ文学科

ドイツ文学科創設100周年記念式典

上智大学創立100周年を迎える本年、創立時からの学科であるドイツ文学科も創設100周年を迎え、それを祝う式典がさる7月20日(土)に開催されました。まず午後2時より木村直司名誉教授による記念講演『シュヴァイツァーのゲーテ論』が行われ、甚大な世界貢献へとつながるシュヴァイツァーのアフリカにおける過酷な医療活動の精神的支柱はゲーテであったという講演は、卒業生を始めとする約250名の聴衆に大きな感銘を与えました。続いてカフェテリアで催された記念祝賀会では、理事長、学長をはじめ学内から、またドイツおよびオーストリア公使をはじめ学外から多くの来賓を迎え、卒業生約180名が参集し、卒業生の有志によるモーツァルトの室内楽の演奏によって幕が上がりましたが、その響き合う弦の音のように、世代も異なる皆がドイツ文学を通して心をつなげる喜びを味わい、これを機会にドイツ文学科が豊かな伝統を守りつつ、さらに新たに発展していくことを願う会となりました。



経済学部

上智大学経済学部100周年記念式典、講演会・シンポジウム、祝賀会

経済学部は商科として創設以来100周年を迎え9月21日(土)10号館講堂に於いて記念式典を挙行し、続いて講演とシンポジウムを開催しました。

八田達夫氏(大阪大学社会経済研究所招聘教授)による格調高い講演に続き次のシンポジストによるシンポジウムが開かれました。

濱口 敏行氏(ヒゲタ醤油(株)代表取締役社長・ソフィア経済人倶楽部会長)

米倉 誠一郎氏(一橋大学イノベーション研究センター教授)

佐々木 かおり氏

(株イー・ウーマン代表取締役社長・株ユニカルインターナショナル代表取締役社長)

山崎 福壽氏(日本大学経済学部教授)

壇上の熱のこもった応酬、そして聴衆との絡みもTVの討論会を見ているような迫力ある内容で、特にこれからの我が国経済を発展させるためのキーの一つが“ダイバーシティ”にあると総括して満場の拍手と共に終了。



引き続き場所をニューオータニに移し祝賀会が開催されました。祝宴会場では明日のソフィア会を背負っていくであろう学生たちの身嗜み、挙措、応接が実に清々しく立派で、我々古いソフィアンは、彼らに夢と希望を感じ、充実した一日となりました。



間の長丁場。サブ・ステージでは、フラダンスやアカペラのワークショップ、酒ジャーナリストの松崎晴雄さん(83外西)によるミニ講演会など、盛り沢山なステージが繰り広げられました。1年半かけてこのイベントの構想を練ってきた鈴木博文(74外英)プロデューサー、準備を進めてきた杉野明秀(85経経)実行委員長、安藤光顕(86外英)副実行委員長をはじめとする実行委員の皆さま、練習を積んでこられたOB・OGと現役の学生諸君ら出演グループの皆さまご苦労さまでした。

ソフィアの の広場

今年が母校創立100周年記念イヤーということもあり、今回は70件近い記事をいただきました。うれしいことですが、誌面のスペースから投稿いただいた記事を全てご紹介することができません。そこで、今回は思い切って掲載方法を変えてみました。なお、お寄せいただく投稿記事は原則としてすべて全文をソフィア会のホームページ(以下、HP)に掲載していますので、HPもご覧ください。

HPの地域(国内)ソフィア会、地域(海外)ソフィア会、各種ソフィア会のバナーをクリックしていただきますと、ソフィア会に登録した団体の地域/名称/代表者名のリストが現れます。特に、地域ソフィア会につきましては、今後団体のメール・アドレスを付記して転勤・留学・旅行等で現地に赴くソフィアの便宜を図りたいと思います。事務局からお問い合わせが行くと思いますがよろしくお願いします。なお、アドレスは個人名よりも団体名のアカウントをお勧めします。ご希望の団体にはソフィア会本部から新メールアドレスを差し上げますので事務局にご連絡ください。

海外ソフィア会

41か国62の都市にソフィア会があり、折々集まって親睦を深めています。



●ソフィア会の存在する都市

〈ヨーロッパ地域ソフィア会〉

アムステルダムソフィア会

■開催日:2013.04.20/2013.07.13

仲村一巳(87文英)

遅い春がやっと来たアムステルダムで上智大学から当地のライデン大学に交換留学中の学生3名を含む15名が集いました。



英国ソフィア会

■開催日:2013.05.03

吉田 忍(97外葡)

1月の「新年交流会」に続いて「春の居酒屋パブ交流会」を開催。英国ソフィア会は、英国で活躍するソフィアに今後も情報交換とネットワーキングの場を提供していきます。

フランクフルト・ソフィア会

■開催日:2013.06.28

黒須寛之(97法法)

フランクフルト・ソフィア会を再結成しました。職種も航空業界をはじめ多種多様ですが、盛り上がっています。近隣にお住いのソフィアのご連絡をお待ちします。

デュッセルドルフソフィア会

■開催日:2013.06.29

新井一郎(81外独)

通常好天に恵まれるデュッセルドルフソフィア会の夏のバーベキュー会ですが、今年は6月末にもかかわらずうすうす寒く、火が恋しい1日となりました。

〈南北アメリカ地域ソフィア会〉

サンパウロソフィア会(パラ州支部)

■開催日:2013.03.31

大岩 玲(98外葡)

ブラジル北部パラ州に現在2名だけいるソフィアがサンパウロに負けじとソフィア会を開きました。ベレンにお越しのソフィアは是非ご一報ください!



バンクーバー・ソフィア会

■開催日:2013.07.08

当ソフィア会は、数名の留学生を除いて全会員が当地への移住者及び一部カナダ人であるのが特徴。上智建学の精神"Men and Women for Others, with Others"を実践しています。当地に來られるソフィアは是非ご連絡ください。

連絡先:Fraser Journal Publishing

Tel:604-939-8707 Fax:604-939-8780

www.thefraser.com 気付

バンクーバー・ソフィア会幹事 宮坂まり(75文独)

mari@thefraser.com

サンパウロソフィア会

■開催日:2013.09.11

林 未来(06外葡)

当会幹事長の百澤智明さんの送別会を開催しました。11月には、サンパウロソフィア会でも母校創立100周年を記念して祝賀会を開催する予定です。来年はいよいよブラジルでサッカー・ワールド杯開催! ご来伯の際は是非ご連絡下さい。

Saopaulo.sophia@gmail.com

ルイビルソフィア会

■開催日:2013.08.03

桑原信之(78文教)

久々にルイビルソフィア会を開催しました。ルイビル圏内に在住のソフィアンの方でソフィア会の住所登録をなさっていない方、どうぞ登録ください。ソフィア会ウェブサイトをご利用ください。



ケンタッキー州ルイビル市(City-data.comより)

サンフランシスコ・ベイエリアソフィア会

■開催日:2013.05.17

代表:金子昌平(81理電)

現役学生を含めて31名の集まりでしたが、うち5名は初参加者で、ますますソフィアンの輪が広がっています。当地へお越しのソフィアンは下記アドレス宛てにご連絡ください。

sophiasfbay@gmail.com

LAソフィア会

■開催日:2013.06.02

尾崎 信(72外西)

29回目の南加大学同窓会対抗ゴルフ大会をWestridge Golf Clubにて開催。上智は23校中5位と、大健闘しました。来年は上智が幹事を務めます。

サンティアゴ・ソフィア会

■開催日:2013.06.24

朝山晃行(96外葡)

このところ送別会続きのサンティアゴ・ソフィア会でしたが、今回は久々に2名のソフィアンを迎え入れました。当地にご赴任のソフィアンは是非ご一報ください。

デトロイトソフィア会

■開催日:2013.09.14

石川雅子(87外西)

ミシガン州ノバイ市で第19回デトロイトソフィア会を開催しました。気がつくとお店の客はわたしたちだけとなっていました。

〈アジア地域ソフィア会〉

インドソフィア会(バンガロール地区)

■開催日:2013.03.12

村田 努(87外露)

インドソフィア会(事務局在デリー)は、バンガロールやムンバイなど地方都市でも徐々にその活動の輪を広げているところですが、今回はバンガロール地区の第2回会合を持ちました。

インドソフィア会(デリー地区)

■開催日:2013.05.17

柳 武(91経営)

昨春のインドソフィア会発足以来、デリー地区で早や5回目の開催となりました。ムンバイ地区ソフィアンの出張者も参加してくれました。



香港ソフィア会

■開催日:2013.06.22/2013.09.16

阿阪 修(70外葡)

11月22~24日香港で開催予定の「第1回アジア・ソフィア会」に向けた決起集会も兼ねて懇親会を開催しました。



シンガポールソフィア会

■開催日:2013.07.26

吉村 淳(84理電)

当ソフィア会は、毎月のように会員の交流の場を設けています。当地在住ソフィアンで会員未登録の方は是非ご連絡下さい。出張等で当地に寄られる方の参加も歓迎です。

ソウル・ソフィア会

■開催日:2013.08.21

大澤 淳(05法法)

新メンバーも4名が加わって盛り上がりました。今回は12月の忘年会です。

新設

カンボジア・ソフィア会

■開催日:2013.08.09

上智大学アジア人材養成研究センター研究員 阿部千依(06外院前)

カンボジア・シェムリアップの上智大学アジア人材養成研究センターにおいて、カンボジア・ソフィア会設立総会が開催されました。上智大学の大学院へ留学し、その後本国で活躍しているカンボジア人ソフィアンを中心に、20名ほどが集まりました。

石澤前学長をはじめ、「上智大学100周年記念企画・アンコール遺跡とミャンマーの旅」への参加者38名も同席し、その後の祝賀会では、上智大学校歌と体育会応援団OBがエールで締め、大変賑やかな交流会になりました。

会長は、エク・ブンタ氏(カンボジア文化芸術省副局長)、副会長はリー・バナナ氏(アプサラ機構・シハヌークイオン博物館館長)とオム・ラビ氏(プノンペン大学副学長)に決定しました。

事務局・連絡先:カンボジア、シェムリアップ上智大学
アジア人材養成研究センター内



左から二人目が会長のエク・ブンタ氏

国内ソフィア会

国内ソフィア会は、44都道府県に在り、81団体を数えます。

ソフィア会の存在する都道府県



新設 とかち帯広ソフィア会

開催日:2013.09.25

事務局:田中真光 (90経経)

帯広市で「とかち帯広ソフィア会」の設立総会を開催しました。来賓として当地出身の石澤前学長とソフィア会の石川副会長にお越しいただき11名が集いました。初代会長には山田倫一郎氏、副会長兼代議員に浅野祐一氏が就任されました。総勢14名程度の小さな所帯ですが、十勝らしいアットホームな組織に育てていきたいと考えています。



函館ソフィア会

開催日:2013.05.25

事務局:三髯慈子 (86文社福)

15名の参加者を得て総会を開催しました。一番遠くからの出席者は江差町からの参加でした。

秋田ソフィア会

開催日:2013.08.23

安東正直 (82法法)

暫くお休みしていましたが、このたび細川佳代子さんをスペシャルゲストにお迎えして懇親会を開催しました。懐かしい顔が揃いました。

いわき・郡山ソフィア会

開催日:2013.06.28

小瀬真男 (73法法)

郡山ソフィア会の白岩会長にお声を掛けていわき・郡山合同ソフィア会を開催し、21名の参加をいただきました。

新設 足利・佐野ソフィア会

開催日:2013.04.14

吉澤慎太郎 (72経営)

メンバー28名が参集して臨時総会を開催し、全員の賛成により役員と規約の2つの議案が承認され、その後懇親会となりました。今後は会員名簿の作成を進めます。



さいたまソフィア会

開催日:2013.06.09

事務局:古屋 毅 (57経商)

浦和・別所沼会館に、35名のソフィアンと大学より高祖上智学院理事長、萬崎総務局長、ソフィア会和泉会長にお越しいただき、にぎやかに懇親会を開催しました。

埼玉西部ソフィア会

開催日:2013.03.30

事務局担当:桑原洋二郎 (66外西)

28名の会員出席を得て総会と創立一周年記念祝賀会を開催しました。総会では松田会長の挨拶に引き続き、入間地区運営委員・ソフィア会常任委員の横原氏から母校創立100周年記念行事への参加要請がありました。

静岡県ソフィア会

開催日:2013.07.06

高原明夫 (71文教)

総会と懇親会を開催しました。恒例の講演会は、城西国際大学教授の土田宏氏に講師をお願いし、懇親会では恒例のチャリティオークションを行いました。

関西ソフィア会

開催日:2013.04.21/2013.09.04

中尾岳史 (83法法)

兵庫県三木市のチェリーヒルズCCにて「上智大学100周年記念・第17回関西ソフィア会ゴルフコンペ」を開催しました。東京から和泉ソフィア会会長、戸川副会長、原田体育会OB会長はじめ11名がお越しくださり、33名の参加者となりました。

また、9月開催の第6回目の落語会は、大学創立100周年ということで同窓の真打、柳家三之助さん(96経経)をお招きしました。



板橋ソフィア会

開催日:2013.06.23

会長:佐藤直樹 (65外露)

戸川ソフィア会副会長を来賓にお迎えして、第19回総会・懇親会を開催しました。

お問い合わせは事務局へ bentan@hosei.ac.jp

立川ソフィア会

開催日:2103.06.30

事務局:平野善則 (77経経)

第12回立川ソフィア会を開催いたしました。ソフィア会から石川副会長においでいただき、母校創立100周年行事等について、詳しくご説明を頂きました。

広島西部ソフィア会

開催日:2013.07.20

会長:賀谷隆太郎 (75理化・77院前理応)

当ソフィア会は、「楽しくなければ同窓会ではない」をキャッチフレーズに、総会や校歌斉唱など是一切なし。交流を深め、人脈を広げ、広島でソフィアの輪を大きくしようと活動しています。

香川ソフィア会

開催日:2013.06.08

元山多美子 (81外西)

総会・懇親会を開催しました。総会では高祖理事長を始め来賓4名の皆さまからアイデア溢れる100周年記念事業についてお話を伺いました。

鎌倉ソフィア会

開催日:2103.02.02

事務局:関 美江子 (77外仏)

鎌倉市内由比ガ浜通りのギャラリー「ジャックと豆の木」に1953年から2007年卒のソフィアン32名が集い、新年会を開催しました。

連絡先:
KamakuraSophia@gmail.com



千曲川ソフィア会

開催日:2013.07.20

幹事:初内裕子 (84外露)

第7回総会を開催しました。1957年卒の大先輩から2012年卒のフレッシュな卒業生までの会員と大学及びアルプスソフィア会からのお客様を加え総勢28名が賑やかに語り合いました。

福岡ソフィア会

開催日:2013.06.08

西村仁宏 (87経営)

夏の懇親会を開催しました。ソフィア会HP〈地域(国内)ソフィア会〉欄に、関連情報(掲示板URL・過去の催し等々)を掲載していますので御覧ください。

各種ソフィア会

〈体育会系ソフィア会〉

アメリカンフットボール部OB/OG会

■開催日:2013.03.03 金鷲会会長:中川敏明(76法法)

往年の名選手たちが集うチャリティーフラグフットボール大会「ハドルボウル」が川崎市の川崎球場で開かれ上智大学OBチームも参加しました。

体育会アイスホッケー部OB会

■開催日:2013.06.08 幹事長:草野芳彦(91経経)

OB・OG19名、学生24名、計43名が参加して2013年度OB総会を開催。総会の後は全員が入り乱れての春大会優勝の祝勝会を兼ねた懇親会となりました。

〈文化系ソフィア会〉

グリークラブOB会

■開催日:2013.05.26

小倉充朗(96文史)

例年通りソフィアンズデーに1-403教室にてOB会総会、その後会場を主婦会館に移しファミリーパーティーを開催いたしました。



ASFグランドフィナーレの校歌二部合唱

〈職種・職域のソフィア会〉

上智不動産ソフィア会

■開催日:2013.04.18 広報担当:西浦明子(91外葡)

今年度定期総会および懇親会を開催しました。当会は、情報交換会、研修会、季節行事などの活動を通じて、「ビジネスにつながる不動産ソフィア会」を目指して会員間の積極的な交流を図っています。不動産業界に関わるソフィアンの皆さまの入会を歓迎します。お申し込みはソフィア会ホームページをご参照ください。

NEC宇宙ソフィア会

■開催日:2013.04.24

北木 新(89理機)

一年間の海外研修を終えて復帰した仲間の帰国祝いと昨年クルトゥルハイムで結婚式を挙げた仲間の結婚祝いを兼ね、2013年度最初の会合を開催致しました。

体育会ゴルフ部OB会

■開催日:2013.07.05-06

林 裕美子(76法法)

今年は体育会ゴルフOB部も創部60周年。これを祝して7月5日に茨城県の大利根C.C.で祝賀記念コンペを開催、翌6日には東京で祝賀パーティーを開催しました。



大利根C.C.イン10番のスタートホール

基鷲会

■開催日:2013.05.25

基鷲会事務局:古屋 毅(57経商)、宇佐美 諭(75法法)

恒例のオールソフィアンズ囲碁大会の参加者は25名、うち4名は現役囲碁研の学生で、OBとの交流もできました。

基鷲会HPをご覧ください。

<http://www.goshukai.net/>



〈学部・学科・ゼミ・クラス会など〉

イスパニア語学科同窓会

■開催日:2013.05.26

澤田弘明(64外西)

オールソフィアンズフェスティバル(ASF)に合わせてイスパの同学会を開催しました。総会に続く懇親会では、卒業生と現役の交流が盛んでした。後半には金祝の5期生['63卒]22名も合流されました。参加者は現役を含めて約130名。今後は参加者をどのように増やしていくかが課題です。

SNSソフィア会

■開催日:2013.06.21/2013.07.07

鈴木真理子(82文仏)

6月21日(金)夕刻よりソフィアンズクラブで、7月7日七夕の日は夏の午餐会@神楽坂を楽しみました。

その他下記の団体から投稿いただきました。ソフィア会ホームページ(HP)掲載月日を記しましたので、HPをご参照ください。

団 体 名	開催月日	HP掲載月日
41経の会	2013.03.20	2013.05.10
Sophians in '80s Brazilの集い	2013.04.03	2013.05.16
1966年卒業イスパニア語D35クラス	2013.04.13	2013.04.26
酒誼会(S.43卒法律学科A16)	2013.04.20	2013.06.17
昭和30年経済学部卒A-7会	2013.05.12	2013.06.05
上智シネマ愛好会(SCA)	2013.05.25	2013.08.27

団 体 名	開催月日	HP掲載月日
1964年外仏卒D34クラス会	2013.05.26	2013.06.06
1966年卒〈A16〉クラス会	2013.05.26	2103.07.19
聖アロイジオ塾同窓会	2013.06.21	2013.07.22
ADVANTAGE T.T.	2013.06.29	2013.07.11
高宮 晋ゼミ“水無月会”	2013.07.28	掲載なし

9月期学位授与式 ようこそソフィア会へ

9月卒業で152人が新ソフィアンに

9月20日、上智大学の9月期学位授与式が四谷キャンパス10号館講堂で行われました。大学院修了者39名、学部卒業生113名。国際教養学部の卒業生が多く、祝福は英語で始まりました。

式典では、滝澤学長が学位記を授与した後、式辞。「新社会人となる卒業生に2つ期待をしたい。第一に、何事にも積極的にチャレンジを。第二に常に広い視野をもってほしい」。高祖理事長は三菱商事元社長で、ワールドカップ日本開催にも尽力した卒業生、故諸橋晋六氏(47経経)のエピソードを紹介し、「皆さんも自分の才能や可能性を他者のため、社会のために役立ててほしい」と祝辞。和泉会長は「皆さんが国際社会で活躍することが母校への貢献。卒業後もソフィア会を通じて大学とつながってほしい」と挨拶。卒業生を代表して田村あゆみさん(国際教養学部国際教養学科)が英語で謝辞を述べました。大学創立100周年の年に卒業という恵まれた新ソフィアンの門出でした。



謝辞を述べる卒業生代表

2013秋学期入学式

グローバル化が進む上智の秋入学

上智大学は1949年以来秋入学を行っている数少ない大学ですが、今年も秋学期入学式が去る9月21日(土)10号館講堂にて行われました。主として国際教養学部と理工学部英語コースに入学した95名と大学院に入学した48名の学生が出席し、川中カトリックセンター長から祝福をいただいた後、滝澤学長から挨拶があり、新入生代表が流暢な英語で入学の言葉を述べました。その後高祖理事長、上野後援会会長の挨拶があり、校歌斉唱で式は滞りなく終了しました。



支援金贈呈

学生課外活動支援金を贈呈! —文科系13団体、体育会40団体へ

ソフィア会は、恒例となった学生課外活動の活発化を促進するための支援金を文科系13団体、体育会40団体の53団体に贈りました。支援金額は各団体に5〜20万円で総額710万円。

贈呈セレモニーは、夏の活動時期を迎えた7月23日(火)に増田副学長、小幡学生局長、大出学生センター事務長、ソフィア会役員・常任委員が出席して行われ53団体の代表者一人ひとりに和泉ソフィア会会長から贈呈目録が手渡されました。これを受け、学生を代表して平田体育会常任副委員長が「今年もソフィア会から貴重な支援金を頂き感謝申し上げます。諸先輩

の気持ちのこもった支援金を皆で大切にに使わせていただき成果に繋がたいと思います」との謝辞がありました。



第54回上南戦

上智大学が総合優勝(連覇)を果たす!

第54回を迎えた上南戦は、5月31日〜6月2日の3日間、四谷キャンパスを中心に全31競技が行われ、上智大学が20勝10敗1引き分けで圧勝し昨年に続き総合優勝を果たしました。大会初日のゴルフと代々木第2体育館で行われた開会式直後のオープニングゲームのバスケットボール男子戦で勝利した上智は、2日目に入るや弓道女子、洋弓女子、バレーボール男子、硬式・軟式庭球男女、柔道、陸上競技、ラグビー等が次々勝利し、夕方行われたサッカーとアイスホッケーの勝利で3日目の最終日を待たず総合優勝を決定。これで上南戦の通算成績は上智の33勝16敗5引き分けとなりました。



大会2日目、「上智大学創立100周年・上南戦記念大会祝賀・懇親会」が、南山大学カルマノ学長、森本同窓会長・武鹿体育会OB会長はじめ関係者を招待して上智大学、ソフィア会、体育会OB会の共催で行われました。300名を超える参加者で、上智100周年と半世紀を超える両大学の伝統行事に発展した上南戦を祝い相互の交流を大いに深め、100周年に相応しい盛り上がった催しとなりました。

金祝燦々会

留学生への「金祝奨励金」の授与式と懇親会

金祝を迎えたソフィアンの仲間で結成している「金祝燦々会」は、海外からの留学生への支援活動に取り組んでいますが、その一つとして今年4月に奨学金制度を発足させました。4月当時の136名の会員に「一口千円」の寄付を募ったところ73名の方から35万円余りの寄付金が寄せられ、大学とも相談の上その使途先を「アジア留学生」奨学金の5名の受給者にすることにしました。10月22日(火)、紀尾井坂ビル第4会議室において滝澤学長を始め、大学のご関係の方々の出席を得て、会員26名とともに、4名の留学生に「金祝奨励金」各5万円を贈呈しました。昼休を利用しての短時間での授与式ではありましたが、引き続き留学生を囲む懇親会に移り、有意義な歓談の一時を過ごしました。



学生提言コンテスト

「100周年Sophia学生提言コンテスト」行われる

10月21日、上智大学国際会議場で100周年学生委員会が主催する「100周年 Sophia学生提言コンテスト」が行われました。同委員会は創立100周年を盛り上げるさまざまな活動を行っていくために学生が設立した団体です。この企画は学生を対象に「いま100周年を迎える上智に提言したいこと」をテーマに、上智大学の未来についての提言を募集。2ヶ月間にわたる募集の結果、187件の応募、7名が受賞しました。最優秀賞は、大山匠さん(文哲4年)。「Sophia Symposium」、学生の学生による学生のための学会の設立について提唱し、受賞しました。上智大学創立100周年記念式典でもこの提言が披露されました。



最優秀賞の大山匠さん

上智大学ビジュアル・アイデンティティが決まりました

上智大学は今年創立100周年という節目を迎えるに当たり、スクールカラーや校章、コミュニケーションマークなど、本学を視覚的に表現するビジュアル・アイデンティティ=VIを整備し、学校法人上智学院として「ビジュアル・アイデンティティガイドライン(VIガイドライン)」を定めました。本ガイドラインは2013年10月1日より運用が開始されています。校章やスクールカラーは、創立以来の本学の「志」を象徴するものです。ソフィアンまたは地域(国内・海外)・各種ソフィア会における各種の活動で標章を使用する場合(例:標章の印刷)には、標章使用願(上智学院所定用紙)により使用許可の手続きをしていただくことになります。なお、各種OB・OG会の旗、既に印刷済みの封筒などにつきましては、新規に作成する折りに手続きをしてください。

「デザイン要素」に関する詳しい情報、もしくは実際の使用に当たっての手続きを含む「VIマネジメント」については、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】学校法人上智学院 総務局 企画広報グループ
03-3238-3179 sophiapr@cl.sophia.ac.jp



学部学科同窓会設立に関する ソフィア会特別支援チーム発足

創立100周年を機に学部学科卒業生のつながりを強めようという卒業生と学部学科教職員の連携による同窓会設立の動きが活発になりました。既に経済学部・理工学部・神学部・法学部は学部同窓会が設立され、学部再編などの関係で外国学部・文学部・総合人間学部は学科別同窓会設立の機運が高まっており、ソフィア会は、設立支援するため大学と連携し、特別支援チームを発足させました。

<特別支援対象となる同窓会設立準備会の条件>

- 以下の3条件を満たす、同窓会であること。
- ① 学部長(学科長)と連携して設立する同窓会であること。
- ② 学部学科出身者全員を会員とすること。
- ③ 卒業生でない教員を含む(特別会員等として)こと。

<既存の学部学科ソフィア会の扱いについて>

支援特別チームは、必要に応じて、以下の原則に沿って、既存の登録団体である学部学科ソフィア会との調整役を担う。

原則:既に登録されている学部学科ソフィア会は、上記<特別支援対象となる同窓会設立準備会の条件>にある3条件を満たしている場合は学部学科同窓会とする。

▶詳しくはソフィア会事務局津久井主事までお問い合わせください

ソフィア会維持会費(運営協力費)ご納入のお願い!

ソフィア会の運営協力費である維持会費は、卒業生が12万人を超え多様化するソフィア会活動を支える新たな財源として、在学中に徴収される同窓会積立金に加え2008年に導入されました。以来、延べ3,830名の方々から1,590万円ものご協力をいただき深く感謝申し上げます。維持会費はあくまで任意で納入いただくいわば寄付のようなもので、他大学でも多くの同窓会で導入していて同窓会運営費の10%以上(ソフィア会は約4%)を維持会費が占める大学も珍しくありません。

ご協力いただいた維持会費は、広報誌「ソフィアンズナウ」の制作・発行、Webサイトの運営費の他、新設された地域・各種ソフィア会のための資金的

援助、オールソフィアンの集いの支援、学生に対する奨学金や課外活動支援金等ソフィア会の活動の幅を広げる財源に充てられています。

ソフィア会では、今後運営費の中で維持会費の割合を高める努力を行い、より広範で積極的な活動を展開していきたいと考えていますので、引き続き維持会費のご納入に会員皆さまのご協力をお願い致します。

【維持会費】一口1,000円から何口でも納入できます。できましたら3口3,000円以上をお願いします。

【ご納入方法】納入方法には、①郵便局専用の「振込用紙」による振込み ②自動引落し(年払制) ③ソフィア会銀行口座への振込みの三方法があります。

ご納入についてのお問い合わせは、ソフィア会事務局(TEL03-3238-3041)にお気軽にご連絡下さい。

訃報	2013年 4月12日逝去	島田聡一郎	元法学研究科法曹養成専攻教授
	2013年 4月20日逝去	Peretti Pietro	元神学部神学科専任教員
	2013年 7月18日逝去	高原亮治	元総合人間科学部社会福祉学科教授
	2013年 9月13日逝去	五味 努	理工学部名誉教授
	2013年 9月19日逝去	山本草二	元法学部特別契約教授
	2013年 10月2日逝去	熊井田鶴子	前上智大学理事、元聖母学園理事長
	2013年 10月24日逝去	村原雄二	元理工学部講師

今後のスケジュール

上智大学ソフィア会2014年春・秋全国代議員会開催日程(予定)

春季 5月17日(土) 秋季 10月18日(土)

2014年のソフィア会・大学のスケジュール

3月27日(木)	学部・大学院学位授与式
4月 2日(水)	大学院入学式
4月 9日(水)	学部入学式
5月25日(日)	金・銀・銅祝式典、上智大学ソフィア会会員大会 2014オールソフィアンの集い
9月19日(金)	9月期学位授与式
9月22日(月)	秋学期入学式
9月27日(土)	第6回地域ソフィア会全国大会(新潟大会)(~9/28)
11月 1日(土)	創立記念日
11月 2日(日)	先哲祭
12月 3日(水)	聖ザビエルの祝日
12月 5日(金)	第7回オールソフィアンのクリスマス
2015年	
3月26日(木)	学部・大学院学位授与式

事務局便り ソフィア会事務局

事務局のスタッフがが増えても、母校創立100周年記念行事の絡みで行事・イベントも増え、また事務所も手狭になり、せっかく遠方からいらしてお立ち寄りくださった皆さまを「おもてなし」もできないのは残念です。最終的な解決には2016年に竣工が見込まれる新棟への事務所の引っ越しを待たなければならぬかも知れません。ご理解ください。(津久井博次/79法法)



上智大学創立100周年記念

「第18回ソフィアンズカップゴルフ大会」開催

9月3日(火)に昨年と同じ箱根カントリー倶楽部に「2013年第18回ソフィアンズカップゴルフ大会」が開催されました。ことしは母校創立100周年記念大会となりました。当日は好天に恵まれ、155名の参加を得て盛会となりました。参加費の一部及びショートホールでのチャリティーを100周年記念事業募金へ寄付することとなり、参加者の皆様には厚く御礼申し上げます。また、賞品を協賛してくださった皆様には厚く御礼申し上げます。

主な成績は次の通りです。

優勝 一色 伸一氏(85経経)
ベストグロス賞 佐藤 正樹氏(79経経)



12月6日はオールソフィアンのクリスマス

100周年記念のASCに集まろう



■ ASC開催概要……………

開催日：2013年12月6日(金)

主な催し：

記念ミサ／聖イグナチオ教会マリア聖堂(17:30～18:30)

イルミネーション点灯式／メインストリート中央(18:30～18:45)

キャンドルサービス／同上(18:45～19:00)

パーティブース／9号館地下カフェテリア(19:00～20:30)

今年第6回を迎えるオールソフィアンのクリスマス(ASC)。すでにソフィア会の年末行事として定着したこのASCですが、今年は上智大学創立100周年を記念し、過去最大規模での開催を計画しています。

記念ミサやメインストリートでの点灯式は例年どおりですが、その後の9号館地下カフェでのパーティは入場無料で開催。これまで以上の卒業生、教職員、学生たちといっしょにクリスマスを祝いたいと思います。ソフィア会ホームページからエントリーし、12月6日は四谷の母校にお帰りください。



アジア・ソフィア会

第1回大会が開催される

第1回地域ソフィア会全国大会(北九州にて2009年11月に開催)の時から話題になっていた“アジア・ソフィア会”の開催が、香港ソフィア会のご尽力で11月22日(金)～24日(日)に実現しました。

日本からの参加者は高祖理事長、滝澤学長、和泉会長以下21名。香港到着の日の夕刻九龍のレストランにて豪州、フィリピン、マレーシア、シンガポール、台湾、上海、北京からの参加者および地元香港ソフィア会の皆さま(総勢70名)と親睦を図りました。

今回の旅行のハイライトはマカオの聖ヨゼフ教会における記念ミサ。この教会にはフランシスコ・ザビエルの右腕上膊が安置されており、スペインのナバラからパリ大学への留学、1534年8月15日イグナチオ・ロヨラらと立てた「モンマルトルの誓い」(この日がイエズス会創立日)から1549年の日本上陸にいたるまで、いわば上智大学創立のルーツであるザビエルの長く、遠い旅に参加者一同は思いを馳せました。



上智大学100周年記念

ソフィア・ルネッサンス連続講演会

12月2日(月) 新井満氏が講演、歌を披露!

100周年記念事業として最終章の今年の前半は、道傳愛子さん(第25回6月28日)、ゾマホンD.C. ルフィン氏(第26回7月15日)の講演は大変好評でした。後半は、第27回11月13日はイエズス会士として東ティモールでの教育に尽くしておられる浦善孝師(98神学研究科博士前期終了)に「人との出会いへ向かうグローバリゼーションー東ティモールの教育現場からー」、第28回12月2日には、新井満氏(70法法)に「上智大学創立100周年を記念する“21世紀の聖歌”『神様のシンフォニー』が誕生するまで」のテーマで講演していただきます。そしてこの100周年記念連続講演会の最後は、前学長、アジア人材養成研究センター長で上智大学建学の精神を象徴する石澤良昭先生に講演いただく予定です。どうぞご期待ください。

詳細、エントリーはソフィア会HPへ。



アンコール遺跡カレンダー

石澤先生監修の2014年カレンダーの販売

上智大学が長年にわたり海外拠点において人材養成と遺跡修復に貢献してきたカンボジアの世界遺産「アンコール遺跡」の写真カレンダーができました。石澤良昭先生が監修して最初の2014年版は、アジア人材研究所の研究員らの撮影による写真が使われ、上智大学の支援で修復中の西参道も含まれています。1部1,050円で販売しますが、その一部が遺跡保存、修復費用として寄付されます。詳しくは、ソフィア会HPでお知らせいたします。



ソフィア会メールニュース・Facebookへの登録のご案内

ソフィア会は月2回のメールニュースをソフィア会員35,065人(2013.11現在)に配信しています。上智大学の最新ニュースやソフィア会の行事などソフィアンに役立つ情報をタイムリーにお伝えしています。また、Facebookには画像入りの最新情報も満載でソフィア会Facebook5,349人、上智大学Facebook9,360人合計14,709人(2013.11現在)が国内外でつながっている大規模なネットワークです。

<メールニュース・FACEBOOKの登録はソフィア会のホームページから>

メールニュースの申込み

受信登録ボタンを押して申し込みフォームにご記入の上、送信してください。



Facebookページの登録

いいね!を押せば登録完了。鷲のマークをクリックするとFacebookへ移動できます。

母校創立100周年記念に書籍2冊刊行

ソフィアンの心に灯したい101の言葉

発行：上智大学出版
(定価／本体1,200円＋税)

東京人増刊 上智大学と四谷界隈の100年

発行：都市出版株式会社
(定価／本体667円＋税)

